

“モントルー・ジャズフェスティバル

ピアノ・ソロ・コンペティション”

日本人女性初ファイナリスト！

細川千尋

ジャズライブ

CLASSIC×JAZZ

鳥越 啓介(ベース) 石川 智(ドラム、パーカッション)

グノー＝J.S.バッハ:アヴェ・マリア

ガーシュウィン:サマータイム

ドビュッシー:組曲「子供の領分」より 第6曲「ゴリウオーグのケーキウオーク」

ラヴェル:亡き王女のためのパヴァーヌ

細川千尋:パガニーニの主題による“ジャズ”変奏曲

ケンプフェルト:L-O-V-E

パーカー:マイ・リトル・スエード・シューズ

細川千尋:Pasión 他

※曲目は変更の可能性がございます。

2018/9/28 [金] 19:00 開場 18:00

ザ・シンフォニーホール

全席指定(税込) 一般 4,000円

良席確保! 100席限定スペシャルシート 5,500円

(4,500円+スパークリングワイン1杯付)

※ザ・シンフォニーホール チケットセンターでのみ取り扱い。
※未成年の方はジンジャーエールもしくはオレンジジュースとなります。
※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

[Sinfonia 会員先行] 3月22日(木) / [一般発売] 3月25日(日)

【プレイガイド】 ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333

(10:00 ~ 18:00 火曜定休)

<http://www.symphonycor.jp>

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:110-406]

ローソンチケット 0570-084-005 [Lコード:53554]

0570-000-407 [オペレーター対応 10:00 ~ 20:00]

【主催】テレビマンユニオン/ザ・シンフォニーホール 【協力】イープラス

【お問合せ】テレビマンユニオン 03-6418-8617 (平日10:00~18:00)

超絶ジャズ!
このトリオ、予測不能。

～ファンコメント～

- 驚いた。とても斬新で今まで見た(聴いた)こともない演奏でした。
- クラシックを切り口としたジャズ。最後は「千尋ワールド」のファンになってしまった。なんだかとても嬉しい気持ち、ハッピーな気持ちになったのでした。
- 千尋さんの天才的なピアノタッチが圧巻で、演奏者としての技術、パワーは圧倒的、弾きながら椅子から立ち上がってしまう程の音の強さ、なにしろ迫力がありません。(40代・男性・東京都)
- 初ジャズライブがこんなに最高のライブで幸せです!! 楽しかったです!! (50代・女性・東京都)

細川 千尋 (ピアノ・作曲) CHIHIRO HOSOKAWA piano・composition

富山県出身。幼少よりピアノが大好きで、時間があればピアノに向かっていた。数々の賞を受賞し、2013年には、スイスのモントルー・ジャズフェスティバル・ピアノソロ・コンペティションにて、日本人女性初のファイナリストとなる。

同年11月、富山でソロ・コンサートを行い、モントルー・ジャズ・フェスティバル・イン・かわさきでは、チューチョ・ヴァルデス公演のオープニング・アクトを務め、連弾で共演。2014年4月にはアルテリッカしんゆり芸術祭にてソロ・コンサート、8月にはミュゼ川崎シンフォニーホールでガーシュウインのラブソディ・イン・ブルーをオーケストラと共演。9月、モントルー(スイス)で行われたセプテンバー・ミュージックにソロで出演。川崎市アゼリア輝賞受賞。これまでに、イタリア、スイス、ベルギーでソロ・リサイタルを開催。

幅広いジャンルの演奏活動を国内外で行っている。クロスオーバーなオリジナル曲とトークも交えたソロ・ピアノコンサートは、高い評価を得ている。2017年2月14日には大阪・ザ・シンフォニーホールにて大阪交響楽団をバックに熱演を披露、大好評に終わり、1年後の同日での再演を決める。

録音では、2014年11月に全曲ソロ・ピアノ・オリジナル作品のデビュー CD『Thanks!』を、2016年2月にはセカンド・アルバム『I'm home!』を発表。2017年11月にリリースの最新盤『CHIHIRO』では鳥越啓介(ベース)、石川智(ドラム・パーカッション)とトリオを結成。自身初のトリオでの録音をリリースする。同トリオにて12月に浜離宮朝日ホールで公演、本人アレンジによるクラシック曲のジャズアレンジが大好評を博す。

昭和音楽大学大学院修了。現在、昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミーに在籍。江口文子氏に師事。



細川 千尋
初のピアノ・トリオ・アルバム!
満を持して挑んだ渾身の録音。

CHIHIRO

好評発売中!
定価2500円(税込)



©藤本史昭

鳥越 啓介(ベース)

KEISUKE TORIGOE Bass

岡山県玉野市生まれ。高校時代、吹奏楽部に入部しコントラバスを弾き始める。高校卒業後、社会人の傍ら地元のビックバンドなどで活動。96年脱サラ、97年上京。その後、ジャズ・邦楽・ポップス・タンゴ・ブラジル音楽などその豊かな才能を駆使し、国内のみならず海外公演も含め、自らのバンドを展開し、また様々なセッションやレコーディングに参加。近年の主な共演者に椎名林檎、原田知世、加藤登紀子、安藤裕子、菊池成孔、MALTAらが名を連ねる。



©藤本史昭

石川 智(ドラム・パーカッション)

SATOSHI ISHIKAWA Drums, Percussion

1967年、東京出身。ブラスバンドでパーカッションを演奏していた兄の影響で、9歳の頃からパーカッションを始める。中学時代、同級生と組んだロックバンドで初めてドラムを叩き始める。高校時代はフュージョン、ハードロック等にいそしみ、大学在学中にパーカッションを始め、ラテン音楽に目覚める。その中でも特にブラジル音楽に傾倒、サンバ、ボサノヴァをはじめ、ブラジルのあらゆるリズム、奏法、アンサンブルスタイルをマスターする。この頃よりプロとしての演奏活動を開始。あらゆるセッション、レコーディングに積極的に参加し、その共演者やジャンルは多岐にわたる。